

東京海上グループの取組が 「ジャパン・レジリエンス・アワード 2018」を受賞

東京海上日動火災保険株式会社(社長 北沢 利文、以下「東京海上日動」)および東京海上日動リスクコンサルティング株式会社(社長 嶋倉 泰造、以下「TRC」)は、ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2018 において、「最優秀レジリエンス賞」および「優秀賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。なお、本賞の受賞は昨年に引き続き二年連続となります。

1. 「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2018」について

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催しており、次世代に向けたレジリエンス社会構築のために、強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等に取り組んでいる企業・団体を評価、表彰する制度です。

2. 受賞内容

賞の名称	受賞した取組	内容
最優秀 レジリエンス賞 (リスクコミュニケーション情報)	東京海上日動 TRC 東京海上グループの地方創生の取組を通じた地域のレジリエンス向上支援	地方創生の取組は地域のレジリエンス向上に直結する。2016年7月に地方創生室を設置し、総勢150人体制で「中小企業のBCP*策定支援」や「小中学校への出前授業(「ぼうさい授業」等)、全国各地のPRを目的とした「マルシェ開催」等を通じ、地方創生・地域レジリエンス向上を積極推進している。 * Business Continuity Plan(事業継続計画)
優秀賞	東京海上日動 東京海上グループの健康経営の推進を通じた地域のレジリエンス向上支援	2017年1月に「健康経営タスクフォース」を設置し、「健康経営」に関して、①自治体や協会けんぽ各支部等との連携による普及促進、②東京大学との共同研究やグループ内での実践、③健康リテラシーの向上、④普及啓発冊子の活用、⑤商品・サービスの提供等を通じて推進を図り、地域レジリエンス向上に積極的に取り組んでいる。
優秀賞	東京海上日動 東京海上グループ・東北大学 産学連携による災害に負けない社会づくり	2011年7月に東北大学と産学連携協定を締結し、保険と科学の力を融合した、①地震・津波リスク評価研究、②津波避難研究、③防災教育・啓発を推進。国際会議を通じた研究成果の発表やマルチステークホルダー対話を主導することで世界防災に貢献している。

東京海上グループはこれからも、保険事業を通じて培った知見を活かし、さまざまなステークホルダーと連携しながら、「地方創生」や「健康経営」、また「産学連携」等の取り組みを通じ、強くてしなやかな社会づくりに貢献してまいります。

